　不　定　詞 (2)+α

**POINT**

1．+αの表現を理解して覚える

1．too to V構文/enough to V構文

Ex1. This bag is too heavy for you to carry.

　 このかばんはあまりにも重すぎてあなたには運ぶことができない。

POINT

①too～to V＝あまりにも～すぎてVできない

②for 人 to V＝不定詞の意味上のSV=人がVする

書き換え表現＝so～ that S can’t V

Ex2. This bag is so heavy that you can’t carry **it**.

とても　　なので　できない

POINT

①too～to V=so～that Ｓcan’t V

②thatの前と後ろでＳが違う時、itやthemを補う。

→接続詞は文と文を足すのが仕事のため、文として完成していないとダメ

③過去ならcan’t⇒couldn’t

Ex3. These questions are easy enough for you to solve.

　 これらの問題は簡単なのであなたは解くことができる。

POINT

①too～to V⇔enough to V＝Vするには十分～/十分～なのでＶできる

②for 人 to V＝不定詞の意味上のSV=人がVする

書き換え表現＝so～ that S can V

Ex2. These questions are so easy that you can solve them.

とても　　なので　　できる

POINT

①too～to構文と表現が逆なだけで考え方は同じ

②語順に注意：形/副 enough to V ・　enough 名to V

2.不定詞の否定形

Ex1. He told me not to smoke here.

彼は私にここでタバコを吸わないように言った

POINT

①to Vの直前にnotをつけると不定詞を否定ができる

②比較

He didn’t tell me to smoke here.

彼は私にここでタバコをすうように言わなかった